

⑧ 自給飼料生産試験事業

実施主体：畜産試験場

担 当：家畜研究部資源活用研究G

1. 研究の目的・必要性

本県の気候・風土に適した飼料作物の奨励品種を選定し、収量を向上させる栽培管理技術を確立する。

2. 研究項目、内容

本県の気候・風土に適した飼料作物の品種選定等を行うため、当場の試験圃場530aにおいて、は種法、は種日、は種量、施肥量、刈り取り回数および刈り取り時期を決め、イタリアンライグラス、スーダングラスおよびトウモロコシ等を実証栽培し、発芽良否、草丈、茎径、茎数、病害虫程度、倒伏適度、乾物率、乾物収量を調査することにより、生育性と収量を検討する。

3. 期待される成果等（成果目標）

本県の地域条件、経営条件などに適した品種の選定を行うとともに、実証展示圃を利用し、畜産農家への普及を図る。
また、単収向上、効率的な生産利用技術などの指導により低コスト化を実現し、畜産農家の経営安定に資する。

4. 予算額 1,791千円（一般 1,791千円）